

科目ナンバリング		U-LAS06 20004 LJ41							
授業科目名 <英訳>	環境と法 Environment and the Law				担当者所属 職名・氏名	地球環境学舎 教授 宇佐美 誠 地球環境学舎 助教 竹前 由美子			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	法・政治・経済(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	金3/金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
本科目の目的は、環境問題の種類・構造や、環境法政策の原理・手法について、法学・政策分析・ミクロ経済学等の知見を活用しつつ概説することにある。									
開講形態は担当者によってやや異なる。授業期間の前半では、討論型授業の形式により開講される。各回授業は、約50分間の講義セッションとそれに続く約40分間の質疑・討論セッションとに二分され、授業中の学生の発言等に基づいて平常点の採点が行われる。後半では、各回授業において、前回授業の振り返りの後に講義セッションが展開される。毎回のリアクションペーパーの提出とその内容に基づき平常点の採点が行われる。									
【到達目標】									
環境問題と環境法・環境政策について、基礎的知識を得る。									
【授業計画と内容】									
次の主題について授業を行う。									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本科目の概観：基本性格と授業方法【1回】(宇佐美・竹前)</li> <li>2. 環境問題の構造：外部性、コースの定理【2～3回】(宇佐美)</li> <li>3. 環境法政策の手法と原理：規制的手法・経済的手法、汚染者負担原則・予防原則【3～4回】(宇佐美)</li> <li>4. 環境政策の実施とその主体：ポリシーミックス、国際機関、国内公共主体、民間主体【2～3回】(竹前)</li> <li>5. 個別政策と今後の環境政策：気候変動・生物多様性・持続可能性ほか【3～4回】(竹前)</li> </ol>									
授業回数は、フィードバックを含めて全15回とする。									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
授業期間の前半には、座席表を作成した上で、各回授業の質疑・討論セッションにおける履修者の発言を質・量の両面から厳密に評価して、座席表に記録し、その記録に基づいて平常点を採点する。後半は、各回授業におけるリアクションペーパーの提出とその内容に基づき平常点を採点する。授業期間全体を通じて、出席による平常点への加点はないが、欠席・遅刻・早退は減点対象となる。									
平常点(50%)と授業期間中に実施する2回の小テスト(25%×2)の点数とを合計して、最終成績を確定する。									
----- 環境と法(2)へ続く -----									

## 環境と法(2)

### [教科書]

予習用資料としてプリントを事前配布する。

### [参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

### [授業外学修(予習・復習)等]

履修者は、前半には、毎回の授業で十分な予習に基づく積極的な発言を期待され、後半は、十分な予習が求められる。

### [その他(オフィスアワー等)]

「環境と法」は、応用的かつ学際的な科目であり、法学・ミクロ経済学をそれぞれ応用するという側面をもつ。そこで、履修要件とはしないものの、これらの科目をあらかじめ履修するか、あるいは本科目と並行して履修することを勧める。

本科目は、同一曜日の2つの時限におおよそ同一の授業内容で開講されるが、授業内容の詳細が異なりうる。そのため、履修者は、履修登録したのとは別の時限に出席・受験しても採点されない。

第1回授業時に、授業の進め方の詳細な説明と第2回授業用の予習資料の配布とを行うので、履修希望者はかならず第1回授業に出席すること。

### [主要授業科目(学部・学科名)]